



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

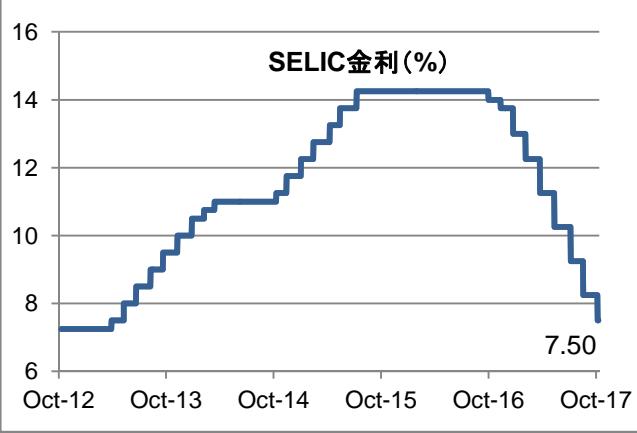
			10月23日	10月24日	10月25日	10月26日	10月27日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2350	3.2470	3.2350	3.2970	3.2360	-0.0610
	BRL/JPY	Spot	35.01	35.06	35.16	34.62	35.13	+0.51
	EUR/USD	Spot	1.1747	1.1760	1.1801	1.1648	1.1600	-0.0048
	USD/JPY	Spot	113.34	113.85	113.76	114.02	113.70	-0.32
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.012	7.018	7.006	7.050	6.952	-0.098
	Future	1Year(p.a.)	7.149	7.141	7.153	7.249	7.165	-0.084
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.245	2.268	2.270	2.247	2.277	+0.030
	USD	1Year(p.a.)	2.437	2.465	2.508	2.508	2.548	+0.040
株式	Bovespa指數	75,413.13	76,350.19	76,671.13	75,899.75	75,975.69	+75.94	
CDS	CDS Brazil 5y	171.13	171.12	172.92	175.41	173.85	-1.56	
商品	CRB指數	184.711	185.824	185.402	185.935	186.891	+0.956	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは7月上旬以来となる3.30台へ下落。
- 週初のレアルは3.1930で寄り付いた。米FRB議長の後任を巡る観測からドルが買われる中、3.20を抜けたレアルは売りが加速。好調な米企業決算を受けた米金利上昇も加わり、レアルは3.26台へ下落した。週半ばにテメル伯大統領に対する2回目の告訴を巡って伯下院が採決を実施。告訴は却下されたものの、票数の結果を受けて年金改革が難航するとの見方が強まり、レアルは週間安値となる3.3010まで下げ幅を拡大した。週末にかけては伯政府による油田採掘権の入札が成功したことを探してレアルの買戻しが進行。結局3.2360で越過した。なお、25日引け後に発表されたCOPOMは市場予想通りの結果となり、市場の反応は限られた。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.72%から0.73%へ上方修正されたが、2018年は2.50%で据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.00%から3.06%へ上方修正された一方、2018年は4.02%で据え置き。為替レートは2017年末が3.15から3.16へレアル安方向に修正され、2018年末は3.30で据え置かれた。
- 伯下院本会議は25日、連邦検察庁が汚職容疑に関して行ったテメル伯大統領に対する2回目の告訴について採決を行い、告訴を却下した。注目された票数は251票が大統領を支持(告訴不支持)、233票が不支持(告訴賛成)となり、引き続き大統領が議会での支持基盤を維持していることが確認された。一方、8月に行われた1回目の告訴における投票結果(261票が大統領支持、227票が不支持)から支持者が減少し、今後審議が予定されている年金改革が難航するとの見方が強まった。
- 26日、米下院は2018年度の予算決議案を僅差で可決。トランプ米大統領による税制改革進展に対する期待感が高まり、週後半はドルが大きく買われた。

3.今週のチャート&ハイライト



出所 : Bloomberg

10月COPOMは利下げ幅を1%から0.75%に縮小

24-25日に開催されたCOPOMでは予想通り0.75%の利下げを決定し、政策金利を8.25%から7.50%へ引き下げた。低水準で推移するインフレ率を受け、昨年10月から開始した利下げ幅の合計は6.75%となった。一方、利下げ幅は4会合続いた1%から0.75%へ縮小。声明文でもインフレ率低下の底打ちや景気回復を背景に、利下げペースを緩やかに縮小していくことを示唆した。市場は12月6日の次回会合で0.50%の追加利下げが行われると予想している。



4.来週の為替市場注目点

予想 ドル・レアル相場レンジ：3.20—3.30

来週のレアルは軟調な動きを予想する。FRB議長の後任人事を巡る思惑から米金利上昇が意識されやすい状況下、ドルは堅調な動きが見込まれる一方、年金改革進展に対する期待感の後退が引き続きレアルの売り材料になるものと見込む。31日朝には今週開催されたCOPOMの議事録が公表予定。市場は次回12月会合での0.50%引き下げを予想しているが、2018年以降の利下げ継続については見方が分かれており、今後の金融政策を見る上で議論の内容に注目したい。また米国サイドでは11月3日に10月の雇用統計が発表予定。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	ローン残高(前月比)	--	0.0%	-0.1%
ブラジル	融資残高	--	3048b	3047b
ブラジル	個人ローン・デフォルト率	--	5.6%	5.7%
米	GDP(年率/前期比)	2.6%	3.0%	3.1%
米	個人消費	2.1%	2.4%	3.3%
米	GDP価格指数	1.7%	2.2%	1.0%
米	CPI PCE(前期比)	1.3%	1.3%	0.9%
米	ミシガン大学消費者マインド	100.7	100.7	101.1

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	10/30	FGVインフレIGPM(前年比)	Oct	-1.31%	-1.45%
ブラジル	10/30	基礎的財政収支	Sep	-22.5b	-9.5b
ブラジル	10/30	Nominal Budget Balance	Sep	--	-45.5b
ブラジル	10/30	純債務対GDP比	Sep	50.8%	50.2%
ブラジル	10/30	CNI Consumer Confidence	Oct	--	98.5
ブラジル	10/31	全国失業率	Sep	12.4%	12.6%
ブラジル	11/1	鉱工業生産(前月比)	Sep	0.5%	-0.8%
ブラジル	11/1	CNI設備稼働率(季調済)	Sep	--	77.8%
ブラジル	11/1	貿易収支(月次)	Oct	\$5350m	\$5178m
ブラジル	11/1	自動車販売台数(ラジアル自動車)	Oct	--	199227
米	11/1	ADP雇用統計	Oct	200k	135k
米	11/1	FOMC政策金利(上限)	Nov/01	1.25%	1.25%
米	11/2	新規失業保険申請件数	Oct 28	235k	233k
米	11/3	非農業部門雇用者数変化	Oct	310k	-33k
米	11/3	失業率	Oct	4.2%	4.2%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。